14.3
135

帝國議會 衆議院報告書 翼賛政治會編 第八十回

0006235001

0006235-001

14．3－135

帝国議会衆議院報告書

翼賛政治会・編

翼賛政治会

第８０－８１回

昭和１７－１８

ABE

14·3
135

第八十回帝國議會衆議院報告書

十七年六月

翼贊政治會

第八十回帝國議會（衆議院）報告書

14、3
135

開院式に賜はりたる勅語

朕茲ニ帝國議會開院ノ式ヲ行ヒ貴族院及衆議院ノ各員ニ告ク

朕カ外征ノ師ハ隨處ニ敵兵ヲ擊破シ要地ヲ攻略シ大ニ威武ヲ中外ニ宣揚セリ而シテ友邦トノ締盟ハ愈〻緊密ヲ加フ朕深ク之ヲ欣フ

朕ハ臣民ノ忠誠勇武ニ信倚シ速ニ征戰ノ目的ヲ達成セムコトヲ期ス

朕ハ國務大臣ニ命シテ特ニ時局ニ關シ緊急ナル豫算案及法律案ヲ帝國議會ニ提出セシム卿等克ク朕カ意ヲ體シ和衷審議以テ協賛ノ任ヲ竭サムコトヲ望ム

閉院式に賜はりたる勅語

朕貴族院及衆議院ノ各員ニ告ク

朕本日ヲ以テ帝國議會ノ閉會ヲ命シ併セテ卿等克ク朕カ意ヲ體シ協賛ノ任ヲ竭セルノ勞ヲ嘉奬ス

目次

開院式と閉院式に賜りたる勅語

一　緒論……一
二　臨時議會の成立……九
三　首相の施政方針演說……一三
四　皇軍將兵に對する感謝と敬弔決議……二二
五　大東亞戰爭と國際情勢……二三
六　大東亞共榮圈建設の三重點……三〇
七　國內體制の强化……三三
八　不動の銃後財政經濟……四四
九　生產力の現狀と將來……四六
一〇　戰時標準型船舶の增强案と船員の大量養成……五二

一一　昭和十七年度追加豫算案……五五
一二　結　論……五七
（附錄）翼贊政治會役員氏名……五八
翼贊政治會規約……五九

一、緒　論

第八十回帝國議會は五月二十五日を以て召集され、二十七日　天皇陛下の親臨を仰ぎ奉り、貴族院議場に於て嚴肅の裡に開院式が擧行せられ、僅か二日間の會期であつたが、政府が大東亞戰爭遂行のため緊急案件として提出した計畫造船の實施確保に關する法案竝に豫算案を眞摯なる態度を以て愼重議了し、二十九日閉院式を擧行せられて、玆に擧國一致、政府・議會渾然一體の姿を中外に普く示しつゝ、歷史的臨時議會を終了した。

そもそも今回の議會は戰局の飛躍的進展に伴ふ當面緊急の諸施策を審議するため召集を仰せ出されたものと拜察し奉るが、また過般の總選擧を契機として盛り上つた一億國民の擧國的政治力を結集し、眞に熱意のこもつた翼贊議會體制を建設せんとするところに重大意義を有した。國民は總選擧に於て大東亞戰爭の完遂、大東亞建設に對する熱意を表明した。吾等はこの總選擧に於て選ばれた翼贊政治の推進員として、國民の盛り上る力を議會に反映し、鐵石の團結心、必勝の信念を全世界に闡明すべき重大使命を帶びて議會に臨んだのである。

これより先き吾等は總選擧にあらはれた一億國民の擧國的政治力の結集に對する國民的熱誠と政府の要請に應ふべく、五月二十日、貴衆兩院を貫き、更に各界代表者を加へたる擧國的政事結社とし

て、翼贊政治會を結成した。會員は今日に於て貴族院議員三百三十一名、衆議院議員四百五十八名、各界加入者二百十二名、合計一千一名に達し、名實共に擧國的政治力の結集である。二十日の全發起人による創立總會は、會の規約宣言及綱領を決議し、同時に會員一致推擧せる阿部總裁より翼贊政治會の使命が說かれ、來賓として臨席せる東條首相よりも政府・翼贊政治會・大政翼贊會が三位一體となつて臣道實踐すべきことが强調されたのである。

◇宣言

東亞の安定を確保し以て世界の平和に寄與するは、畏くも宣戰の大詔に昭示し給ふところなり。帝國は今や古今未曾有の世界動亂に際し、大東亞戰爭の完遂に邁進す、洵に曠古の大業なり。皇師一たび出でて、赫々の戰果は、世界を震撼せりと雖も、大業の前途は尙ほ遼遠なり。乃ち國民の政治意識を昂揚し、擧國的政治力を結集し、以て國家の總力を發揮し、戰爭目的を貫徹せざるべからず。

惟ふに此の戰時下敢て總選擧を施行せられたるは、清新强力なる議會の確立を庶幾せるものに外ならず、而して總選擧の結果は澎湃たる國民總意の嚮ふところを明にせり。是れ正に一擧翼贊政治體制を確立して、必勝の擧國態勢を完成すべきの秋なり。

翼贊議會の要は清新なる政治力を以て、派閥抗爭を一掃し、一地方一職域の利害に拘らず、眞に國家的見地に立ち、公議公論の府として政府と協力するにあり。議會翼贊の大道、亦實に玆に存す。

本會は國民各界に亘り政治翼贊の總力を凝集し、以て國政の運行に協力せんとす。而して翼贊政治體制の確立は、擧國的國民運動の基礎の上に立たざるべからず。因て本會は大政翼贊會と緊密なる連繫を保ち、相俱に大政翼贊運動の徹底を期せんとす。

大東亞戰爭の完遂、大東亞共榮圈の建設、世界新秩序の樹立を想ふ時、帝國の任務は眞に重大なり。吾等國民は須く肇國の大理想の下、豪壯なる氣宇と雄大なる構想とを以て、今後の世局に對處せざるべからず。

本會の發足に當り、明に結成の趣旨を述べ、遍く之を天下に告ぐるは、亦是れ吾等の責なり、敢て宣す。

◇綱領

一、國體の本義に基き、擧國的政治力を結集し、以て大東亞戰爭完遂に邁進せんことを期す

一、憲法の條章に恪遵し翼贊議會の確立を期す

一、大政翼贊會と緊密なる連繫を保ち、相協力して大政翼贊運動の徹底を期す

一、大東亞共榮圈を確立して、世界新秩序の建設を期す

◇ 創立總會に於ける阿部總裁の演說要旨

只今不肖私は本會の總裁に推擧せられるの光榮を荷ふことになつた、現下未曾有の非常時局に當り何人もそれぞれの職域に御奉公申上げ、一切私心に拘はるべき秋でないので、敢てその器に非ざるを知りつゝも、謹んで之を御受け致す次第である。

御承知の如く、去る七日、東條內閣總理大臣から私共に對し、歷史的總選擧の行はれたのを機として全國民の團結を愈〻强固にし、大東亞戰爭の完遂と翼贊政治體制の確立とを目指す擧國的政治力の結集を衷心より希望する旨の御話があり、且つ之が實現の方法につき工夫盡力致すべき要請があつた。

この擧國的政治力の結集に關しては、かゝる政府の要請があつたばかりでなく、廣く一億國民の之れを求むること既に久しいものがあり、然かもその實現を見ずして今日に到つたのである、這般の總選擧における結果を見ても、また國民の要望がこゝにあつたと信ずる。

私共はこの政府の要請と、この國民的要望とを打つて一丸とすることこそ、我が國における政治上喫緊の要務なりと考へ、極めて至難の擧國的政治力の結集を具體化すべく、ひたすら研究工夫を重ねてきた。

幸ひにして主唱發起人各位の熱誠により、旬日を出ずして規約、綱領、宣言要旨の成案を得、

今日、こゝにかくも多數各位の御贊同を得て、本會の創立總會を開くに到つたことは、飛躍的轉換期にある邦家躍進のため、誠に御同慶の至りに堪へない。

抑も本會の使命とするところは一億國民が渾然一體となり、肇國の大理想を世界に發揚し、皇國の眞姿顯現のために、翼贊の大道を全うせんことを期するにある。然して、この國家的重大使命を遂行するには、國民の總力を凝集し、これを政治力に動員する仕組を必要とするのである、そこに皇國獨自の一大國民的政治力の結集が要請されるのである。本會が、過去における政黨と異り、また一國一黨的存在とも異る眞の皇國獨自の政治的組織たるを要する所以も茲にある。從つて、本會の運營についても、新たなる工夫構想を要する。

卽ち舊來の政黨は政策を以て政治團體結成對立の旗幟としたものであるが現下要望される政治組織體は、政策の對立抗爭を眼目とするものに非らずして、國民的至誠の政治力結集にあり擧國的報國の至誠からのみ湧しき政治力が創造されると信ずる。飜つて大東亞戰爭下に於ける高度國防國家體制の建設は、八紘爲宇の肇國の大理想を根柢とするものであり、この歷史的な聖業を達成するためには、雄渾にして壯大なる國民的創意を反映せしむる國民の政治的協力體制の確立を要し一切がこの皇國大理想の完遂に集約さるべき經綸とその果敢なる實踐が要請されるのである。

こゝに私は、本會創立の意義を見出すのである。言葉を換へていへば、本會は國民各界にわたり、

政治翼贊の總力を凝集し、帝國憲法に恪遵し、協贊の誠を效す翼贊議會の確立を圖ると共に、國政の運行に協力しもつて大東亞戰爭の完遂と大東亞共榮圈建設の方途を促進せしめ、進んで世界新秩序樹立に對する我が指導性を確立せんとするものに外ならぬのである。

しかして、政治翼贊の大業を完成するためには、國民の各職域を通ずる組織的協力に俟たねばならぬ。從つて翼贊政治會は大政翼贊會と緊密なる連繫を保ち、政治實踐と國民運動推進の實踐と、渾然一體大政翼贊の誠を竭し依て以て皇國興隆の基礎愈〻固きを加ふるものと信ずるのである。

終りに臨み、私共は皇軍將士が前線にあつて死生を超越して盡忠の誠を盡すと同じ心境に徹し、以上申し述べた本會の使命を全うし、政治翼贊の大道に挺身せんことを誓ひたいと思ふ。かくして皇國興隆の基礎を益〻强固ならしめ、世界新秩序樹立の先達としての責務を果すべく、各位の御協力を切に御願ひ申上げる。

◇ 創立總會に於ける東條首相の挨拶要旨

このたび大東亞戰爭下において敢へて行はれたる總總舉は國民の大東亞戰爭完遂に對する熱意を十分に中外に表明した。これによつて清新にして强力なる議會成立の基礎は確立された。この際各方面の政治力が結集せられ官民一致、大東亞戰爭完遂を期することはこれ實に國民の澎湃たる要望であり、しかしてまた國家焦眉の重大事である。

今回貴衆兩院並びに大政翼贊會その他各界の先達の方々が政治力結集に就て工夫と努力とを重ねられたる結果、今日目出度くこゝに翼贊政治會の創立を見るに至つたことは、この國家の要請に應じ、國民の要望に應ふるものであつて、誠に邦家のため御同慶の至りである、大東亞戰爭は開戰以來未だ五ヶ月餘であるが、御稜威の下皇軍將兵の善謀勇戰により、隨所に敵を擊滅し東亞における敵の本據要域は悉く皇軍の把握するところとなり、世界の耳目を聳動せしめて居るのである。

しかして今や大東亞全般にわたつて既に雄大なる建設が着々として行はれて居るのである。

しかしながら過去數世紀の長きにわたつて廣大なる領土を掩有し、世界の富を壟斷したる米英兩國を最後まで擊碎せんがためにはなほ前途非常なる努力を要することは勿論である。しかも彼はあらゆる奸策を弄し、われに對する必死の攪亂戰を行ひ以て萬一を僥倖せんと試み來るは當然である、卽ち戰爭はこれからである。

この秋に當り最も必要なることは我々國民が堅忍不拔いよ〳〵團結を固くし、おの〳〵その職域において奉公の誠を致して行くことである。

さきに大政翼贊會の成立をみ、官民協力翼贊運動に精進し來つたのであるが、さらにこの度大政翼贊會と同一理想の下に新たに翼贊政治會成立し、擧國的政治力の結集を見るに至つたことも、こ

の國家的要請に應せんとする力強き全國民の、決意の結晶であると私は確信するものである。

かくて大東亞戰爭開始以來あらゆる機會において示されたる國民の熱烈なる氣魄と今回の翼贊選擧において遺憾なく發揮された國民の澎湃たる要望とはこゝにその成果を見るに至つたのである。しかして政府はこの國民の要望に應へます〳〵國民を信賴し全國民と共に大東亞戰爭完遂に向つて邁進し、もつて聖旨に答へ奉らんとする確固たる決意を有するものである。

また大政翼贊會については萬民翼贊臣道實踐の國民運動の推進中核體としてその活動の分野を明確にしその機能を刷新し、もつて創立の理想達成に邁進することゝ相成つたのである。私は新たに創立せられたる翼贊政治會が眞に國民の輿望の結晶たる重責に顧み、常にその綱領宣言の趣旨に則り强力なる活動を行ひ、大政翼贊會と相俱に政府に協心戮力、大東亞戰爭完遂、翼贊政治體制の確立に邁進せられんことを希望してやまないものである。茲に私は翼贊政治會の創立を祝すると共にその前途に對し限りなき希望を表明し、以てその健全なる發展を期待するものである。

二、臨時議會の成立

翼贊政治會は議會に臨むべき院内機構を整へるため、五月二十二日最初の代議士會を開き、院内役員を決定した後、阿部總裁から吾等の對處すべき態度につき指示するところがあつた。

◇ 阿部總裁挨拶要旨

大東亞戰爭は日に捷報を傳へてゐる。第七十九回帝國議會終了後の戰果のみを回顧しても曩に印度洋及び珊瑚海の海戰では敵の海軍力を擊破し、フイリッピン及びビルマの戰闘では各その地を平定し、既に大東亞圏内は、概ね皇軍の勢力下に入つてゐる。しかして、盟邦の歐洲における新攻勢と相俟つて、米英擊滅の決戰は正に近づかんとしてをり。第八十回帝國議會は、かゝる重大時期に召集せられたのである。政府提出の議案は戰爭の遂行、共榮圏の建設に緊急必要なる方策であり、帝國議會としては、この機に一億國民の固き結束のもとに、大東亞戰爭完遂に邁進するの姿勢を中外に明示すべきである。私は諸君の牢固たる決意を促すべく、一言所信を述べたい。

本會所屬議員は、議員の壓倒的大多數を占めてをり、これが一團となつて議會に臨むことは、帝國議會開設以來未だ嘗つてないことである。これ正しく大東亞建設の指導國家たるわが國の議會態勢として適はしいばかりでなく、同時に世界政治史上燦然たる光輝を放つ盛觀と申すも過言で

ないと信ずる。しかもわが翼賛政治會は過般の總選擧を通じて反映せられた國民政治力の最大結晶である。國民は、本會の運營いかんに非常なる期待をかけてをり、同時に諸君の擧措は世界注視の的となつてゐる。從つて諸君は、重要國策の審議に當り、論議すべきは大いに論じ、雄大なる構想に基く大東亞建設の創意を披瀝し、もつて清新潑剌たる翼賛議會として公議公論の府たる實を擧げ、翼賛議會たる本領を最高度に發揚し、協賛の洵を竭さねばならぬ。諸君は、あくまで時局の重大性に顧み、小異を捨て協心戮力、一糸亂れざる態度をとり、いささかたりとも國民に對し、疑惑を與へるがごとき行動のなき樣切に心を碎かれたい。

かくて召集された議會は、前議會までのやうな院内交渉團體は翼賛政治會を除いて存在せざるため、從來の各派交渉會は解消され、專ら議事の圓滿なる進行をはかるため、新に議院協議會が設けられ、正副議長の下にこの協議會によつて衆議院の運營方針が決定せられることゝなつた。

二十五日の召集日には正副議長の選擧が行はれて、議長に岡田忠彦君、副議長に内ヶ崎作三郎君が勅任され、更に二十六日には各部屬並に議席が決定され、茲に衆議院の成立を見たのである。

開院式は翌二十七日午前十一時　天皇陛下の親臨を仰ぎ奉り、貴族院に於て擧行せられ、優渥なる勅語を賜はり、吾等は恐懼感激、ひたすら　聖旨を奉體して翼賛の誠を竭さんことを誓つた。そして二十八日本會議劈頭に於て、左の勅語奉答文を總員起立して可決したのである。

勅語奉答文

恭シク惟ルニ

車駕親臨シテ茲ニ第八十回帝國議會開院ノ盛式ヲ擧ケサセラレ優渥ナル　勅語ヲ賜フ臣等　感激ノ至ニ勝ヘス今ヤ皇軍勇武毎戰捷ヲ奏シ大ニ國威ヲ中外ニ宣揚スル是レ偏ニ

陛下ノ稜威ニ賴ラスムハアラス臣等　謹ミテ　聖旨ヲ奉體シ擧國一體億兆一心倍〻忠誠ヲ竭シ報效ニ勵ミ征戰目的ノ達成ニ努メムコトヲ誓フ　臣等時局ノ重大ニ鑑ミ愼重審議協賛ノ任ヲ完ウシ以テ上

陛下ノ隆恩ニ應ヘ奉リ下國民ノ委託ニ酬イムコトヲ期ス衆議院議長臣岡田忠彦誠恐誠惶謹ミテ奏ス

右勅語奉答文は岡田議長參内して　天皇陛下に拜謁を賜はり、これを捧讀捧呈したが、重ねて左の勅語を賜はつたことは恐懼感激に堪へない。

朕衆議院ノ深厚ナル敬禮ヲ嘉ス

かくして二十七日より議事に入つて翌二十八日政府案のすべてを議了し、二十九日閉院式を仰せ出されて勅語を賜はり、更に兩院議員に對し宮中に於て拜謁仰せ付けられ、吾等は聖恩の有り難さにたゞ〳〵感泣してこゝに歷史的議會を終つたのである。

三、首相の施政方針演說

五月二十七日の衆議院本會議に於て東條首相は施政方針に關する演說をなし、一億國民總進軍の國内態勢の上に大東亞戰爭完遂の不拔の信念、不動の決心を中外に闡明し、議場また異常に緊張し、嚴肅な空氣の裡に滿場拍手してこれを支持する總意を表明した。

本日開院式に當りましては、特に優渥なる　勅語を賜はり洵に恐懼感激に堪へぬ次第であります。私は諸君と共に謹んで　聖旨を奉體し報效の誠を致し、飽までも征戰目的を完遂せんことを衷心より期するものであります。

尙ほ此の機會におきまして國民の輿望を荷ひ、陣容を新たにせる衆議院議員諸君に對し、茲に政府の所信を率直に披瀝致しますることは私の最も欣幸とする所であります。

大東亞戰爭の勃發以來未だ半歲に滿たざる短期間におきまして、皇軍は隨處に敵兵力を擊摧し、大東亞に於ける要域は悉く皇軍の占有する所となり、米英の海上部隊は脆くも太平洋及び印度洋より驅逐せられ、茲に戰勝御嘉尙の優渥なる勅語を拜しますることは實に八回に及んだのであります。斯くの如く相次ぐ無上の光榮に浴し、國威を世界に宣揚致しましたることは、洵に前古未曾有の事蹟であります。而も此の世界に類例なき連戰連勝と竝んで、各方面共に盛大なる新建設が行はれ、今や大東亞戰爭の目的は着々として達成せられつゝあるのであります。

而して南方に於ける作戰に策應し、在支皇軍の活躍は愈〻重慶軍の勢力を減殺しつゝあります。更に又北方の守り儼として磐石の固きを加へつゝあるのであります。是れ偏に　御稜威の下、皇軍の善謀力戰の賜でありまして、私は全國民と共に皇軍將兵各位に對し深甚なる謝意を表し、幾多忠勇義烈の英靈に對し謹んで敬弔の誠を捧ぐる次第であります。

斯くて從來米英等の桎梏の下に呻吟して居りました大東亞の諸民族は今や、八紘爲宇の大精神に包容せられ、各〻其の本然の姿に復歸し、新しき世界秩序建設の一翼を擔當して、新生の第一歩を踏み出すに至りましたことは、洵に御同慶に堪へぬ次第であります。

此の外征の偉業に策應し、國内防衞の備へは愈〻充實强化せられて居るのであります。而して、一億國民の義勇奉公の精神は日と共に昂揚せられ、大東亞戰爭を飽くまでも戰ひ拔くの不屈不撓の

決意が、質實剛健なる實生活の上に具現せられつゝある事實に對しましては、眞に感激の至りに存ずる次第であります。

併しながら此の内外共に有利なる現在の態勢も、戰爭完遂の上に於ては勝利の端緒を打開致したに過ぎないのでありまして、對米英戰に於ける勝敗の決は、正に今後に於ける總力戰の結果に存しますることは、改めて言を俟たざる所であります。世界制覇を徒らに夢見たる米英兩國の勢力を、根柢より崩壞せしむるにあらざれば、斷じて正義の戈を收めざることは、畏くも宣戰の大詔を拜し奉りましたる開戰當初より、終始一貫渝らざる一億同胞の牢固たる決意であり、不動の信念であると私は確信致す者であります。

是に於て今後に於ける戰爭指導の要諦は、世界の驚異の的となつて居りまする陸海協同作戰の妙を愈〻發揮し、飽くまでも敵を索めて必ず之を擊滅し、益〻緒戰の戰果を擴充致しまするとに、此の豪壯なる積極作戰に呼應し、雄大なる建設を敢行し、而して以て國家總力の飛躍的向上を圖り、之に依り愈〻必勝の態勢を强化せんとするにあるのであります。政府は是が爲に常に不拔の信念と不動の決意とを以て一億國民の陣頭に立ち、夙夜全力を竭し、常に周到なる準備を完整しつゝ、同時に内外の情勢に卽應して果敢なる實行に出で、以て輔弼の重責を全うし、國民の信賴に副はんことを期して居る次第であります。曩に大東亞戰爭の眞只中に於きまして、敢て總選擧の施行を奏請致しましたる所以のものも亦茲にあるのであります。

而して今回の總選擧を契機として、國民の盛り上る熱意は只管大東亞戰爭完遂、翼贊政治體制確立を目指す澎湃たる機運となり、全國津々浦々に漲つたのであります。而して此の全國民の眞底からの政治的意欲は、遂に結晶して翼贊政治會の創立となり、茲に多年に亘る全國民の願望である新しくも又逞ましき政治力の結集を見るに至りましたことは、邦家の爲め洵に欣幸に堪へぬ所であります。

又一方政府は此の澎湃たる國民の熱意に應へ、各種國民運動は出來得る限り之を眞劍なる國民の自發的運動に委ね、以て此の健全なる發展を期待すべく、擧げて之を大政翼贊會の傘下に集め、斯くて大政翼贊會は擴充せられたる使命に於て其の機能を刷新し、意氣を新にし、以て萬民翼贊、臣道實踐の國民運動中核體として、一路邁進することゝ相成つたのであります。而して政府は之に照應し、行政各廳の事務を與ふ限り簡素强力ならしめ、其の人員の餘剩は擧げて之を大東亞全般に亘つて活躍する我が國人士の充實に資せんと致して居るのであります。

今や一億國民總進軍の國内態勢成り、全國民の士氣愈〻旺盛にして、官民一體米英擊滅の爲め完璧の陣容を以て邁進し得ることになつたのであります。邦家の爲め眞に御同慶に堪へぬ次第であります。

此の際特に帝國の經濟力に付きまして、一言申上げたいと思ひます。抑〻帝國の經濟は從來米英依存の傾向が強く、是が爲め常に米英に依つて掣肘と脅威とを蒙つて居たのであります。政府は夙に玆に省みまして、支那事變發生以來、斯くの如き帝國の經濟的弱點を極力補正し、重要國防物資の自給態勢を確立致すことを決意し、一方に於きましては、支那事變を遂行しつゝ、他方に於きましては、四箇年計畫を立てゝ、國防上絶對必要なる物資の增强を圖つたのであります。斯くて大東亞戰爭開始直前に於きましては、旣に米英の壓迫に對處し、敢て大東亞戰爭を斷行し得る經濟力を確立するに至つたのであります。是れ國民各位の粒々辛苦の結晶でありまして、此の勞苦に對しましては、深甚なる感謝の意を表する次第であります。

更に大東亞戰爭開始以來の皇軍の赫々たる戰果は、南方諸地域に於ける石油、ゴム、錫、其他の重要國防資源を悉く我が手に收め、我が國經濟の自主自給性は、從來の努力と相俟ちまして、益〻强靭となつたのであります。卽ち日滿支の物資と、南方地域の物資とを併せて、帝國の自給生産の基礎は完全に確立せられ、我が戰時經濟は武力戰に伴ふ消耗を、完全に補塡充足し得まするに、今後の戰力擴充を確乎不動の基礎の上に置くに至つたのでありまして、帝國經濟の前途實に洋々たるものがあるのであります。加之敵國側に對しましては、從來彼等の依存し來れる重要國防資源の供給を遮斷するの結果となり、是が敵國側に與へつゝある打擊は、頗る重大なるものがあるのであります。

政府は以上の新事態に卽應致しまして、大東亞全域の綜合經濟力を遺憾なく發揮し、戰爭遂行力を急速に增强することを主眼と致しまして、本年度物資動員計畫及び生産力擴充計畫を確定し、之を中核として輸送、勞務、交易及び資金等に關しまする諸計畫を策定致しまするとと共に、是が實現の爲め必要なる各般の措置を執つて居る次第であります。

尙ほ政府は國民生活の安定確保、特に食糧確保が總力戰遂行上絶對緊要事たるの本質に鑑みまして、大東亞全域の物資を活用し、大東亞各住民の民生とも彼此照合し、是が萬全を期せんとして居るのであります。卽ち本年度よりは新に生活必需品に關しまする物資動員計畫を樹立し、是が遂行に關しましては、陸海軍よりも格別なる協力を受けつゝある次第であります。固より戰時經濟の本質と致しまして、之を局部的に、或は短期的に見まする場合に於きまして、不便、不足は眞に已むを得ざるものがあるのであります。併しながら之を大局から見ましたる場合、今後如何なる長期戰に對しましても、國民生活の上には斷じて不安なしと言明し得ることは、私の洵に欣幸とする所であります。

次に我が對外關係に付きまして一言致したいと存じます。日滿華及びタイの四國が戰爭目的を完全に同じくし、相互の國交は益〻緊密の度を加へて居りまることは、洵に力强く又賴もし

き限りであります。先般滿洲國の建國十周年に當り　皇帝陛下の深厚なる御思召を體して、謝恩特派大使張景惠氏來朝し、御親書を捧呈せられたる上、我が朝野に謝恩の至誠を披瀝せられたのであります。而も　天皇陛下に於かせられましては、畏くも高松宮宣仁親王殿下を滿洲國に御差遣遊ばされ、滿洲建國十周年に祝意を表せられたのであります。更に中華民國國民政府主席汪精衞氏が、民國の元首として滿洲國を往訪せられて、滿華兩國本然の友好關係を愈〻緊密ならしめ、併せて滿洲國が建國十年にして、飛躍的に進歩せる實情を親しく視察せられたのであります。而して近く同政府を代表し、訪日特派大使として褚民誼氏が來朝せられることになつたのであります。又更にタイ國より日タイ同盟慶祝特派使節ビヤ・パホン・ポンパユハ・セーナー中將が來朝せられまして、國書を捧呈せられ、我が朝野の各方面と親密なる交驩を盡くせられたのであります。是等の事實は洵に日滿華タイ四國が政治上に、經濟上に、財政上に、將又軍事上に愈〻相倚り相扶けて、互に其の强靭性を加へ、相共に提携して大東亞共榮圈確立の推進力たらんとする烈々たる同志の氣魄を表示するものであります。茲に帝國政府は全國民と共に、斯くの如き團結鞏固なる大東亞の情勢に對し、衷心より祝福の意を表するものであります。

歐洲方面に於きましては、獨伊其の他の諸友邦が共同の戰爭目的の爲に、帝國と益〻協力一致して幾多の艱難を克服し、愈〻不屈不撓の健鬪を續け、偉大なる戰果を擧げられつゝあります

ことは茲に帝國政府として深甚なる敬意を表明するものであります。帝國は大東亞戰爭に於ける不斷の勝利を以て、盟邦獨伊の米英兩國に對する善戰健鬪に呼應し、今後益〻全力を擧げて兩者の綜合戰果を擴充せんとするものでありまして、特に必然的に作戰上の密接なる連繫を圖り、盟邦相携へて新たなる世界の秩序を確立せんとするものであります。米英兩國が相次ぐ敗戰と前途の不安とに焦躁し、今次の戰爭を目して、所謂人種戰なりと枉げて呼號しつゝあるが如きは、彼等が常に踏襲する謀略的宣傳に外ならないのでありまして、正義の上に協力せる我等樞軸國の堂々たる結束が、陰險なる米英の此の種策謀に因つて、苟も微動だにするものにあらざることは、既に今日世界周知の事實であります。

由來他民族の犧牲に於て自己の發展と、安逸を圖る米英傳統の惡辣なる政策は、今や世界に遍く暴露せられたのであります。此の秋に方り、皇軍の果敢なる進擊に依つて、清掃せられたるビルマに於きましては、皇軍の正義に基く平和的指導の下に、全地域のビルマ人が翕然として起ち、光榮ある獨立の機運を、自ら促進しつゝありまることは、洵に賴もしき限りであります。斯くて英帝國のインド防衞の前進根據地は、盡く皇軍の占據する所となり、インド人宿望の蹶起獨立すべき絶好の機會は、正に到來致したのであります。

英國の國璽尚書クリップスを繞る英印會談が、何等の成果を擧げることなく、遂に決裂致しま

したることは、インドが既に精神的に、英國より獨立せることを表明するものと考へられるのであります。卽ち英國のインド領有の精神的基礎は、既に消滅致したと申すべく、インド獨立の歷史的第一歩は正に始まつたのであります。併しながら今日尙ほインドには、英國領有の形骸を存し、軍事施設は嚴存し、其の兵力は增强せられて居るのであります。帝國は米英の兵力がインドに殘存する限りに於ては、之を徹底的に破碎せんとする牢固たる決意を有するものであります。是が爲に無辜のインド民衆に禍ひの及びまするることも亦洵に已むを得ない所であります。此の際私はインド民衆が一段の勇猛心を奮ひ起し、起つて米英軍を驅逐し、米英の勢力を完全に芟除し、以て祖國獨立の實を完うせられんことを期待するものであります。

帝國のビルマ戡定に伴ひ、重慶政權は遂に孤立し、沒落の一途を辿りつゝあります。在支皇軍の努力に依り、歸順投降して中華民國國民政府に忠誠を誓ふもの愈〻多く、重慶軍の戰意は日を逐うて低下しつゝあります。自己の非なるを知りつゝ敢て悛めざる者の末路は、斯の如く憐むべく、而も帝國は該政權の抗戰に對し、最後の膺懲の鐵鎚を下さんとするものであります。

我が精銳なる陸海軍の緊密なる協同作戰に依り、西南太平洋は全く我れに慴伏し、濠洲は所謂太平洋の孤兒となつたのであります。殊に最近濠洲の周邊に於て展開せられたる珊瑚海海戰に依り、濠洲防衞の海上勢力は潰滅し、今や皇軍の前に濠洲を護るものは、何ものもないのでありま

す。此の際濠洲の指導者に對し、私が曩に本議場に於て申述べましたる所に思ひを致し、國際的情勢を洞察し、其の地理的環境を考慮し、以て勇斷、速かに其の最も重大なる擧措を決せられんことを、私は改めて玆に要望するものであります。

今やインドは動搖し、重慶は沒落せんとし、濠洲は孤立致しました。飜つて香港、昭南島、比島、其の他の要域は、何れも治安と秩序の回復に伴ひまして、着々として新建設圈の據點となり、更生の巨步を進めて居るのであります。又太平洋、インド洋に於ける我が海上權は、日一日と擴大せられて居ります。之に反して英國は重要なる海外の領域を失ひ、資源確保の途を奪はれ、其の國內整備亦進捗せず、今や重大なる破局に直面して居るのであります。而して又敗戰相次ぐ米國は致命的打擊を徒らに隱蔽して、捏造を事とする宣傳謀略に依り、國內に蜂起せる非難と中立諸國の離反を防ぐに汲々たる實情にあるのであります。可憐なる部下將兵を戰場に拋棄して逃避せる指揮官を重く用ゆるが如き、或は無益些末なる海上攪亂戰を誇大に宣傳して、敗戰を糊塗せんとするが如き、斯かる指導者の下に戰爭を行ひつゝある米英國民に對し、私は憐愍の情に堪へない次第であります。

今や帝國は聖戰最後の勝利を確信し、世界に比類なき雄渾周密なる作戰を益〻果敢に進展せしめて居るのであります。玆に政府は全國民と共に渾然一體となり、擧國總力の向上充實を圖り、

愈〻兜の緒を締めて、皇國傳統の犧牲報國の精神を益〻發揮し、速かに聖戰の目的を完遂し、以て　聖慮を安んじ奉らんことを深く期して居る次第であります。

今回提出の議案は計畫造船實施確保に關しまするもの等、時局に關し緊急なる事項に限定を致したのであります。何卒御審議の上速かに御協贊を與へられんことを切望する次第であります。

終に臨み、盟邦諸國より帝國に寄與せられたる協力に對し、私は深厚なる謝意を表明致しますと共に、全國民各位が獻身御奉公の實を擧げつゝある報國の至情と、又不屈の努力とに對し重ねて衷心より敬意を表する次第であります。

四、皇軍將兵に對する感謝と敬弔決議

次いで東條陸相より三月中旬前議會報告以後のビルマ、バタアン半島竝にスマトラの諸地域に於て、御稜威の下、赫々たる戰果を擧げ、南方の建設また極めて順調に所期の目的を達しつゝある旨を詳細に述べ、開戰以來五月十六日までの南方に於ける綜合戰果は、俘虜約二十九萬人、擊墜破せる敵飛行機約千八百機、鹵獲火砲約三千五百門、小銃、機關銃、拳銃等約三十萬挺、戰車、自動車、鐵道車輛類約四萬五千輛等に達し、開戰以來四月三十日までの我が方の貴き戰死者は將校以下九千、戰傷者約二萬、一般の衞生狀況も極めて良好である旨を說いた。而して[redacted]戰以來陣歿せられたる幾多の貴き英靈に對し衷心より哀悼の誠を捧げるとともに、その遺家族竝に戰傷病將兵に對し深く同情し、また銃後に於て渝らざる後援を寄せられたる國民に厚く感謝を述べた。これに引き續き、嶋田海相より印度洋、比島、東印度諸島及び濠洲方面に至る海軍戰況、並に開戰以來の海軍の綜合戰果は、擊沈したもの戰艦八隻、航空母艦六隻、巡洋艦十五隻、驅逐艦二十四隻、潛水艦五十隻、計五十八萬トン、その他小艦艇四十七隻、大中破したもの戰艦五隻、巡洋艦十二隻、驅逐艦十一隻、潛水艦二十九隻、計三十二萬トン、その他小艦艇四十隻、商船は百六十九隻、九十三萬四千トンを擊沈し、百二十九隻、四十八萬五千トンを擊破、また拿捕したものは艦艇九隻、商船五百三隻、約二十二萬トン、飛行機は擊墜擊破を合せて二千二百八十五機に及ぶに對し、我が方の喪失したものは、小型航空母艦一隻、水上機母艦一隻、敷設艦一隻、驅逐艦六隻、潛水艦六隻、その他小艦艇十四隻の外、海軍關係輸送船十七隻、六萬二千トン竝に飛行機二百四十八にすぎず、かくのごとき大規模なる作戰を敢行し、豫想外の小損害を以て顯著なる戰果を擧げ得たことは偏に　御稜威の然らしむるところであり、壯烈君國に殉じたる忠勇なる將兵に對し、衷心哀悼の誠を捧げ、その遺家族に對し深厚なる同情の意を表すと述べた。

衆議院は皇軍の赫々たる大戰果に感謝し、また護國の英靈に對し肅然として敬弔の意を表するため左の決議案を上程、秋田清氏その提案の理由を說明、滿場一致これを可決した後、總員起立して戰死者の英靈に對し默禱を捧げた。これに對し陸海兩相から陸海軍を代表して謝辭が述べられた。

決　議　案

米英兩國ニ對スル宣戰ノ　大詔渙發セラレテヨリ玆ニ半歲忠烈ナル帝國陸海軍ハ百戰百捷隨處ニ敵要衝ヲ粉碎シ屢〻敵艦隊ヲ殲滅ス近クハ天險バタアン半島、コレヒドール島要塞ヲ攻陷シ印度洋及珊瑚海海戰ニ強力ナル敵聯合艦隊ヲ擊摧シテ東亞侵略ノ敵勢力ヲ悉ク覆滅シ今ヤ長驅ビルマヲ制壓シテ重慶ノ背後ニ突入シ其ノ死命ヲ制スルト共ニ印緬國境ニ進出シテ印度ヲ震撼シ遙ニ濠洲ヲ脅威スルニ至レリ

又大陸ニ於テハ勇鬪奮戰殘敵ヲ掃蕩シテ專ラ綏靖ニ力ヲ竭シ或ハ默々不動國境警備ノ衝ニ當リ敢テ覬覦ヲ容ササル精銳アリ內ニ在リテハ潛勢待機儼トシテ國土防衞ノ責ヲ全ウスル將兵アリテ共ニ克ク征戰ノ雄圖ヲ扶掖ス玆ニ於テ廣袤數萬里陸ニ海ニ空ニ旭旗ノ飜ラサルナク東亞安定ノ基礎正ニ確立ス

顧フニ世界戰史未曾有ノ大戰果ヲ收メ赫々タル偉功ヲ奏シ皇威ヲ四海ニ光耀シ國力ヲ八紘ニ顯揚セルハ是レ偏ニ　御稜威ノ下皇軍將兵諸士ノ勇武ニ由ル所ニシテ國民擧ケテ感喜感奮愈〻必勝ノ信念ニ燃エ倍〻協心戮力聖戰目的ノ完遂ニ邁進シ以テ　天業ノ恢弘ヲ期シ奉ラサルナシ

兼議院ハ特ニ院議ヲ以テ帝國陸海軍將兵諸士ノ偉勳ニ對シ滿腔ノ誠意ヲ捧ケテ感謝シ命ヲ君國ニ致シタル幾多崇高ナル英靈ニ對シ恭シク敬弔ノ忱ヲ表ス

右決議ス

◇決議案說明要旨

大東亞戰爭は、我が肇國以來、悠久二千六百有餘年の歷史に於きまして、曾て其の例を見ざるところの重大なる意義を持つものたることは、今更申上げるまでもありませぬ。此の大戰爭を完遂し、據て以て大東亞共榮圈を確立し、世界の維持を斷行して、人類永遠の平和に貢獻致しますることは洵に建國の大精神たる八紘を掩ひて宇と爲すの皇謨を恢弘する所以でありまして、一億民族の榮光之に過ぐるものはありませぬ。

此の大戰爭は客年十二月八日大詔渙發以來、忠烈無比の我が皇軍が神速果敢、僅かに半歲の間に堂々たるの步武を進め、赫々たるの戰果を奏し、威風四海に振つて、今や既に大東亞の圈域は概ね我が皇軍制壓の下に、其の支配に服するに至つたのであります、而して人類の公敵米英兩國をして、復た起つ能はざるまでの窮境に置いたのであります。

卽ち陸に於きましては、香港、マニラ、マレー、シンガポール蘭印諸島に難攻不落と言はれて居た幾多の敵根據地を悉く攻略し、海に於きましては、ハワイ、マレー沖を初めとし、スラバヤ沖、バタヴイヤ沖、ジヤバ沖の海戰に、堅牢無敵と誇つて居た許多の敵艦船を擊沈擊破致しました。

此の驚天動地の戰績は世界の耳目に新たなる所でありまするが、最近に於きましてはバタアン半島の天嶮に據り、或はコレヒドール島の要塞に立籠り、頑強なる抵抗を續けて居りました米軍を猛襲強攻して、遂に白旗を揭げしめ、フイリッヒン全島を我が支配下に置き、印度洋及び珊瑚海海戰に於きましては、帝國本土攻擊を目標とする有力なる敵聯合艦隊を擊滅擊破して、再擧の望みなきに至らしめ、又ビルマ派遣軍は嶮嶽激湍を縱橫自在に踏破して、隨所に重要據點を奪ひ、敵を潰亂四散せしめまして、背後から支那本土に突入し、米英の援蔣輸血路を切斷して、重慶政權に最後の宣告を與ふると同時に、一方には印緬國境に進出して、英印協同防衞の望みを薄くし、英の對印政策に制壓を加へてインド獨立の機運を益〻旺盛ならしめました。更に濠洲に對しましては珊瑚海海戰以來、絶大の脅威を與へつゝあるのであります。

斷つて眼を大陸方面に轉じますれば、支那派遣軍は開戰五年來、每戰必勝の勇氣を鼓舞し、曩には冀東地區の共匪を勦滅し、目下浙東平原の殘敵を討伐し、殲滅戰を展開しつゝあります。而して其の反面には專ら治安工作に意を注ぎ、國民政府と力を協せ、孜々として宣撫綏靖に努めつゝあります。又滿洲派遣軍は蜿蜒千里に亘る國境守備の責を負ひ、默々として重大なる任務に服し、寸毫の油斷なく、覬覦を防いで居るのであります。

又內外地沿海に護りを固めて居る軍の將兵諸士は、勢を潛めて心膽を錬磨し、待機雄飛に備へ、儼として國土防衞の任を完うせられ、與に俱に雄大なる征戰を扶掖して居ります、斯くの如く內外に在る我が皇軍は、水も漏らさぬ緊密なる協調を保ち、相呼應して、以て廣袤數萬里に亘り、陸に海に空に旭旗を飜して、東亞安定の基礎を確立して居られるのであります。斯る偉業こそ實に世界史上未曾有の盛事でありまして、其の結果は眞に東亞の東亞を建設し、皇道を宣揚して世界平和に貢獻すべきことを思ひますれば、今こそ眞に歷史轉換の劃期たることを痛感して、皇威の光耀と國力の顯揚をば衷心より祝福慶賀致さざるを得ないのであります。是れ偏に　御稜威の下、我が忠實勇武なる皇軍將士の御働きが、超人的に卓越せる偉大なるものでありまして、其の御辛苦と御努力の賜が、卽ち此の大戰果に外ならないのでございまするから、我等國民は唯〻感激歡喜感謝に堪へない所であります。殊に此の聖戰に從はれまして勇戰奮闘悲壯の最期を遂げられ、護國の神となられました方々、及び不幸病魔の冒す所となり、等しく命を君國に捧げられました方々の英靈に對しましては、銃後國民は何れも齊しく痛惜哀悼の情に堪へないのであります。茲に恭しく敬弔の誠意を捧げ、謹んで御冥福を祈ります、尙ほ御遺族の方々に對しましては、深く〳〵御同情申上ぐる次第であります。

今や戰局の推移と共に、世界の大勢は既に殆ど決せられました。萬世を貫いて渝らざる大使命を擔ふ我が日本國民は益〻必勝の信念を强くし、眞に身を以て大義に殉ずるの覺悟を持し、協心

戮力聖戰目的の完遂に邁進し、以て天業の恢弘を期し、皇運を扶翼し奉り、邦家萬年の大計を樹てなければなりませぬ、正に是れ一億國民不動の信念と存ずる次第でございます。卽ち本院に於きましては、是まで幾度か國民總意の感懷を披瀝して、決議とする所あつたのでありますが、只今當議場に於て陸海軍大臣より最近に於ける詳細なる戰況の御報告を承りまして、更に感激の念、感謝の意を新たにするを禁じ得ないのであります。

就きましては此の際擧國總力の結集成り、翼贊政治體制確立せられましたる此の歷史的の意義深き清新議會初頭に於きまして、特に國民の心からなる熱情を明かにして、以て決議と致したく存ずる次第でございます。何卒諸君の御贊成を願ひます。

◇東條陸相謝辭

只今全會一致を以ちまして、全陸軍に對し熱誠溢るゝ感謝竝に敬弔の御決議を賜はり、洵に感激の至りに堪へぬ次第であります。

開戰以來或は頑敵を屠り、或は邊境の安全を保ち、或は國土防衞の重きに任じつゝありまするとは、固より 御稜威の下、全將兵の義勇奉公の結果ではありまするが、官民各位の熱烈なる御協力御後援に依るものと深く感銘致して居る次第であります。併しながら私共は征戰目的完遂の爲には、尙ほ幾多の障碍を突破しなければならぬことを覺悟致して居る者であります。隨ひまして全軍將兵は益〻聖旨を奉戴し、愈〻必勝の信念を固くし、海軍と相携へて敵を屈服せしめねば已まない覺悟であります。何卒今後とも層一層の御支援を賜はらんことを切に御願ひ致す次第であります。尙ほ御決議の次第は直ちに英靈に報告致しまするが共に、全軍に漏れなく傳達を致します。茲に陸軍を代表致しまして、衷心より謝意を表する次第であります。

◇嶋田海相謝辭

只今は滿場一致を以ちましての御懇篤なる感謝竝に敬弔の御決議を戴きまして、洵に感佩の至りに堪へませぬ、直ちに之を全海軍將兵に傳達致しまするが共に、戰歿將士の英靈に報告することゝ致します。

開戰以來海軍部隊が終始陸軍部隊と緊密なる協力の下に勇戰奮鬪し、到る處大なる戰果を收め得ましたことは、偏に 御稜威の然らしむる所でありまして、洵に感激に堪へませぬ、併しながら戰爭の前途は尙ほ遼遠でありまして、勝敗の決は今後に懸つて居ります。我等將兵は苟も小成に安んずることなく、愈〻粉骨碎身、實力の鍊成發揮に努め、以て上 聖旨に副ひ奉り、下國民の熱誠なる後援に應へんことを固く期して居ります。茲に海軍を代表致しまして厚く御禮を申上げます。

五、大東亞戰爭と國際情勢

今や東亞に於ける米英蘭の侵略據點はすべて覆滅せられ、大東亞共榮圈建設の大業は既にその巨歩を踏み出し、以て敵國による世界制覇の野望を挫きて、大東亞を搾取の桎梏から解放し、世界新秩序を建設するの基礎は愈〻固きを加ふるに至つた。かくして道義に立脚し、大東亞共榮圈内の諸邦、諸民族をして各その所を得しめ、相携へて大東亞興隆の榮譽を享受せしめんとする帝國の大理想は、大東亞の諸邦諸民族に深き認識と感銘とを與へ、占領地に於ては、戰火の餘燼が未だ收まらざる間から、早くも積極的協力の態度を示してゐるのである。東鄕外相は　五月二十七日本會議に於て大要左の如き外交演說を行つた。

一、タイ、佛印との關係

開戰直後、帝國とタイ國との間に攻守同盟が締結されたが、更に最近圓バートの等價を基準とする決濟方法その他經濟上の諒解が成立するなど、金融經濟を始め文化方面にも互助提携の實を擧げ、佛印との間にも亦經濟交涉が順調にすゝみつゝある。

二、日滿華三國の關係

滿洲國は建國十周年を迎へ、帝國と一億一心の誓ひを益〻固くし、國民政府主席の滿洲國訪問によ

り、滿華兩國の關係が飛躍的に增進し、日滿華三國は益〻緊密に提携しつゝある。

三、重慶政權の窮乏

重慶政權は米英の敗退に失望しながら今尙ほ米英に追隨して、彼等の所謂抗戰建國を續けることによつて、その存在を繫がんとしてゐる。しかし今日に於てはビルマ・ルートとは全く遮斷され、米英の援助を求める途無く、經濟不安は日一日と惡化の一途を辿り、その窮狀はいよ〳〵深刻の度を加へてゐる。

四、インドの情勢

わが雄渾なる作戰がインドに於ける英軍を脅威するや、英國はインド懷柔をはかり、その積極的協力を求めるために種々策謀したが、却つてインド指導者達の毅然たる反擊によつて失敗したのみならず、更にインドの對英不信を全世界に暴露する結果を生んだ。また最近帝國のビルマ戡定によつて英國の焦慮は益〻深刻となり、インド統治は根柢から動搖するに至つた。しかし英國は尙ほもインド人の對日反感を煽つてインドを戰爭に引き入れ、或はインドに焦土戰術を行はしめんとしてゐるがまことに暴戾なる手段といふべきである。わが國としてはインドの指導者達がこの絶好の機會に於て「インド人のインド」實現に邁進し、敢然起つてインドの解放と、建設に努力されることを全世界の幸福のために望んでゐる。

五、樞軸諸國との關係

日獨伊三國の提携協力は作戰上は勿論政治經濟文化の各般に亘り、極めて緊密に行はれてゐる。なほ歐洲の盟邦ハンガリー、ルーマニア、ブルガリア等の協力により、今や樞軸の紐帶には微塵の動搖もない。

六、中南米諸國の立場

中南米諸國中には米國の威嚇と使嗾とに屈して、帝國竝に同盟國に對し國交斷絶乃至宣戰の擧に出でたものもあるが、アルゼンチン、チリーの如き有力なる國々は、毅然として中立政策を堅持してゐる。

七、日ソ關係

日ソ間の關係は戰爭勃發後も何等の變化はない。今後戰爭の進展に伴ひ、米英の日ソ離間の策謀は益々熾んになるものと豫想されるが、ソ聯政府が現在の態度を堅持する限りかゝる策謀の成功する餘地はない。わが國としては北方の安全確保の見地から引續き冷靜なる態度を以て事態を注視してゐるのである。

八、米英の國内事情

當初米英は長期戰に望みを嘱し、兩三年後戰備の充實を待つて、一擧反擊に轉ずる方針であると稱し、打ち續く敗戰の糊塗に努めて來たが、最近に於ては本年が戰局の大勢を決定する最大危機なりとし、軍備擴張の促進と積極的作戰への轉換とを唱道しつゝある。しかし單に物資の方面のみを見ても船舶不足の問題など解決至難の問題が少くない。

なほ兩國は敗戰の惡評を蔽はんとして、根據のない口實を設け、不法にも佛領マダカスカル島を占領し、更に佛領西印度諸島にもその魔手を伸べんとして居り、またイランに進出して攪亂をはかるなど、戰禍を各地に波及せしめてゐる。この憎むべき弱肉强食の方策は徹底的に擊滅しなければならない。

九、結　論

右の如く國際情勢は日一日と米英に不利に展開しつゝある。勿論米英とて今後頽勢の挽回に必死となつて反擊の擧に出づることは充分に豫想すべきであるが、戰爭の前途が如何に遼遠であつても、一億一心不撓不屈の努力を傾注するときは、この大戰を完遂し、聽て光輝ある世界を建設することが出來るものと確信する。

六、大東亞共榮圈建設の三重點

大東亞共榮圈建設の大方針は、政府は大東亞建設審議會の答申に基いて進められてゐる。卽ち、八

紘爲宇の精神を大東亞全般に顯現することを方針とし、大東亞に屬する各國各民族が、一致協力して各〻その分に應じて十分なる力を發揮し、大東亞防衞の基礎を永久に確保し、その生成發展をはからんとするものであり、これがため左の三點に重點を置くことが、二十八日の豫算總會に於て東條首相より明白にされた。

一、大東亞各地域はその人的及び資源的特性を充分發揮して、以て大東亞全體の經濟力の强化充實をはかること。

二、各國各地方の經濟力が相倚り相助け以て大東亞の經濟力を綜合發揮し、大東亞防衞に必要なる自主的國防力の基礎を完成すること。

三、共榮圈内の各住民は苦樂を共にし、各〻その分に應じて協力すること。

七、國内體制の强化

大東亞戰爭の完遂のため、國内體制の强化は益〻その必要を要請されてゐたが、その一環たる政治體制は過般の總選擧により、政府と議會とが眞に一體となり、茲に政治の新しい體制が確立されるに至つた。この總選擧に於ては大東亞戰爭の完遂、大東亞の建設といふ二點に對し、國民は非常な熱意を示したが、今後の國内政治の基調は、新しき體制の下に、國民の全力を大東亞建設に活用すること

にあるのであつて、東條首相は二十八日の豫算總會に於て左の如く述べてその決意を表明した。

須く政府は一億國民の陣頭に立つて進むべきであると云ふ點に付きましては、昨日施政方針に於きまして述べた通りでありまして、勿論其の決意を以ちまして現在に於ても實行し、又今後に於きまして、其の決意と氣魄を以て進んで參りたいと思つて居ります。凡そ私のみならず、又閣僚のみならず、總ての各階級の官吏が其の氣持を持つて、又官吏と云はず、民間各界の指導階級の方々は、總て今日は其の氣持を持つて、所謂陣頭に立つて、率先範を示して行くと云ふ態度で進むことが必要であり、又是が日本の總力を彌が上にも發動する所の重要なることなりと私は考へて居る次第であります。政府勿論其の決意ではございまするが、皆樣方、國民の選出されました方々に於かれましても、どうぞ同じやうな氣持を以て御協力を賜はらんことを御願ひする次第であります。又議會と協力し、是と一體となつて進むと云ふことに付ての御話に付きましては、勿論御同感であります。從前もさう云ふ風な積りを以ちまして、私は政治を指導して參りましたが、今後に於ても同樣なる考へを以て依然實行をして行きたい、斯う考へて居ります。

第二點の、政府は宜しく大東亞建設に當つて、國民の全力を活用せよと云ふ點であります。御同感であります。凡そ大東亞戰爭を完遂し、而して聖慮を安んじ奉ると云ふことは、吾々一億國民全部の任務であると考ふるのであります。全國民が其の全力を捧げてこそ、初めて是が遂行を

期し得ると考ふるのであります。而して大東亞戰爭が今日の如く赫々たる戰果を擧げつゝある所以のものは、是れ固より　御稜威の下、皇軍將兵の忠烈なる奮鬪の賜でありまするが、又一億國民鐵石の團結の下に、各職域に渾身の奉公をなされつゝあることに依るのであります。今回の總選擧に於きまして、只今御言葉にありましたる如く、國民の大東亞戰爭完遂の爲に奉公せんとする此の澎湃たる熱意が表明せられたる所の今日に對しまして、私は洵に無限の力強さを感ずる者であります。政府と致しましては此の國民の熱意に應へ、信を國民の腹中に置き、其の國民の燃ゆる力を活用致しまして、以て官民協力、戰爭目的の完遂に邁進せんことを期するものであります。此の趣旨に依り既に實行中に屬するものも少くはないのでありまするが、更に、只今御質問の御趣旨の如く、其の活用範圍を擴大する爲に色々工夫を凝らしつゝありまするが、成案を得るに從ひまして、今後とも着々是が實行を圖つて參りたい、斯う考へて居る次第でございます。

官廳事務の簡易化、行政機構の改革等を含む行政刷新の問題は翼贊政治體制の重要なる部面として民間に於ても要望して居るが、この點に關し東條首相は、豫算總會に於てその刷新を斷行すべき意圖を明かにした。

大東亞の建設は洵に曠古の大事業でありまして而して是が中心は我が國民が之に當らなければならぬことは當然でありまして、卽ち我が國民の働かなければならない所の舞臺は俄かに今日增大をして參つたのであります、一方大東亞戰爭を遂行しつゝ、他面此の要求に應じて行く爲には、國の内外に亘りまして、又凡ゆる部門に於きまして其の動き方を改める、只今御話のありました如く、卽ち出來るだけ少い人數で力强く仕事をやつて行く、斯う云ふ風にして參らなければならぬと思ふのであります。又每回申すことでありまするが、私は信念と致しまして、政治と云ふものは結局に於ては、機構が仕事をするにあらずして、人が仕事をするのである、人の考へがそこに變つて行けば、自ら能率も非常に增して來る、斯う思ふのであります。況んや只今申しまする如く、今日國家は大東亞建設と云ふ開闢以來の大仕事をやつて居るのでありまするが故に、總ての人が此の際に頭を轉換して、さうして茲に目覺めて、少い人間でも、從來倍も三倍もの人間を以て働いて居つたやうな仕事を、全部引受けてやつて行かうと云ふだけの積極的な考へを持つて行くならば、何事でもなし得る、斯う私は考へて居ります。卽ち此の新舞臺の仕事を精鋭主義を以て簡素而も强力にやつて行かなければならぬのは、固より國内在來の仕事に付きましても亦此の趣旨でやつて行かなければならぬと思ふのであります。然らずんば到底今日の時局を克服して行くことは出來ないのであります。而して政府部内各官廳は、國民に對しまして指導的の地位に立つものであります。故に斯くの如き時局に際會致しましては、先程も申します如く、率先垂範事務の遂行に刷新を行ひ、又一方曩に申述べました如く、國民を信賴して、其の全面的の協力を

活用する趣旨に基きまして、思ひ切つて仕事を簡素にして、さうして此の人員に極力除剰を生じさせ、一方同様なる民間の努力と相俟つて、之に依つて大東亜戦争完遂と、大東亜共榮圏の建設に必要なる人員補給の途を講じて参らなければならぬものと信ずるのであります。私は此の趣旨を以ちまして、官廳事務を簡素にすることを眞に必要と認めまして、從來も其の實現の爲め必要なる措置は執つて参りましたけれども、今後とも現下の時局に鑑みまして、愈〻力を致して、是が徹底を圖つて参りたいと存ずるのであります。今御述べになります如く、此の問題は言ふは易くして行ふは中々難いのであります。各〻今日の制度にまで來て居ると云ふことは、そこに大きな歷史を持つて居ります。卽ち一つの歷史を改めると云ふことは相當に至難なものであると云ふことは、政治的にも私は能く承知して居ります。併しながら今日全國民、況んや官吏にして今日の大きな此の事態を認識せざる者は一人もないと思ふのであります。此の認識の上に立つた場合に於きまして、此の實行と云ふものは容易であらうと考へるのであります。政府勿論其の決意を以て實行して行きたい、斯う思ふのであります。又只今御述べになります如く、此の簡素にする、それは何故にかと云へば、所謂大東亜の建設と云ふ、世界的の大きな事業に、其の簡素にした所の、それに依つて得た所の人士を、大東亜建設と云ふ大きな仕事の分擔者としての光榮を擔ふのでありまするが故に、私は喜んで、進んで此の仕事に當ることが出來るものと考ふるのであります。

第二は、政府の實施して居る所の行政が、末梢に至るまで徹底することに依つて、初めて政府の企圖することが實行せられると云ふ所の御論旨に付きましては、御同感でありまして、さう進むべきであり、又さう進まなければならぬと考へて居るのであります。政府の實施せる行政と云ふものを出來得る限り伸ばすと云ふことが實現し得るのであります。又政府の實施せる行政と云ふものは、實際上如何なる結果を齎らして居るか、之を常に正しく認識することが行政の實行、政治の指導の上に於きまして重要なる事柄でありまするが爲め、政府に於きましては、曩に考査の制度を採用致しまして、目下是が實行中であります。而して此の行政考査の成果に依つて、改むべきは之を改め、更に研究すべきは機を失せず研究する等、常に此の行政の適正を保つことに、今後とも十分注意して参りたいと思ふのであります。殊に下級になればなる程、直接民に觸れるのであります。下になればなる程、其の行政の結果が如何に國民に影響して居るか、如何なる響きを與へて居るかと云ふ點を察すると云ふことが、非常に强い點でありまして、私が日常其の點に付きまして全閣僚と共に苦心して居る所であります。更に民と共に心から喜び、又民と共に泣くべき時は泣くと云ふ所の氣持を持つて行政官と云ふものはなすべきである。斯う私は信ずるのであります。さう云ふ風に各官吏を指導して参つて居る積りであります。勿論何十萬と云ふ多くの官吏の中に於きましては、まだ十分親の心子知らずと云ふ點もあらうと思ひまするが、是は逐次滲

透して來るものと私は考へて居る次第であります。

八、不動の銃後財政經濟

大東亞戰爭開始以來、わが國の財政は飛躍的に增進を示してゐるのであるが、之に對する賀屋藏相は、二十七日の本會議に於て、最近のわが國財政經濟狀況につき大要左の如く述べた。

(一)、大東亞金融方策の確立

我が國の財政經濟に關する方針の基本は、大東亞戰爭に完勝し、我が國を核心とする大東亞共榮圈の確立及び其の維持發展を圖り、進んで新世界經濟の建設に寄與するに存し、是が實現を期しまするが爲には、單に我が國のみならず、大東亞共榮圈全體の總力發揮に努めなければならないのであります。我が國が其の中核として指導的立場に立ち、最も力を盡すべきことは當然でありますが、共榮圈內各地域が、相共に此の崇高なる共同目的を自覺し、且つ之を達成するが爲に、財政經濟の方面に於きましても、各〻其の分に應じて大いに協力をなすの要があるのであります。

圈內各地域の生產と地域相互間の物資の交流も、大東亞を雙肩に擔ふ我が戰力の增强と、今後の大建設と圈內住民の生活確保とを目的と致しまして、計畫的に行はるべきは勿論であります。大東亞の金融方策が是と相卽應するが如く、資金の需要供給、地域間の交流及び決濟が、我が國を中心

指導力とする新體制の下に行はるべきは當然であります。是が爲には共榮圈內各地域相互間の決濟のみならず、進んでは圈內諸地域の圈外諸地域に對する決濟が、綜合的に日本圓に依り東京に於て行はるべきこと、卽ち圓は中心通貨であり、東京が中心地點たるべきことの必要は、既に其の方針を宣明致したる所でありまして、滿洲國及び中華民國に付ては、既に實行せられて居る所であります。

(二)、タイと新決濟方式取極

先般タイ國に於ては、此の方針に協力し、日タイ兩國間の決濟は、從來の金又は米英貨に依る方法を一擲し、日本圓を以て行ふことゝ致し、更に進んで共榮圈內外の各地域に對する決濟に付ても、此の方法に依らんとするものであります。タイ國は是が爲め日本銀行との間に、必要なる取極めをなすことゝ相成つたのであります。日本銀行は曩に國內的にも國防國家體制に卽應すると共に、大東亞金融圈の中心機構たるに相應するやう、其の組織の改變を行つたのでありまするが、右タイ國との決濟方式の取極めに依り、其の第一步を踏み出すものであります。又先般我が國とタイ國との間に於て、兩國通貨の換算率が圓對バート一對一に改訂せられたることは、是亦大東亞戰爭の完遂及び大東亞共榮圈の確立發展と云ふ綜合目的達成の見地より、物資、資金の交流を合理的に促進せしむる趣旨に出でたるものであります。タイ國政府が前述の如く大東亞共榮圈確立發展の爲め、經濟關係に於ても能く我が國に協力せられつゝありまることは、タイ國自體の利益と發展の爲にも

亦幸慶とする所であります。

（三）、南方の施策着々整備

南方占領諸地域に於ける通貨金融に關しましては、我が軍票は現地の在來通貨と渾然一體を成しまして、引續き極めて圓滑なる流通を見て居りまするのみならず、南方開發金庫も去る三月末には其の設立を完了し、本邦諸銀行の現地への復歸乃至進出も漸次實行せられ、其の他の諸施策も逐次進捗致しまして、全體の通貨金融體制は着々と整備し、之に依つて施設の復舊、資源の開發、物資の蒐集交易等も漸次活潑ならんとしつゝあるのであります。

（四）、儲備券の育成援助

大東亞共榮圈内に於きまして滿洲國及び中華民國が、核心的なる重要な存在でありまることは申すまでもない所でありますが、滿華兩國に於ける重要國防資源の開發等各般の經濟建設は、我が國よりの資金資材の援助も引續き活潑に行はれ、着々と進捗を見つゝあるのであります。尚ほ國民政府は去る三月三十一日以降中央儲備銀行券と舊法幣との等價關係を廢止致したのでありまして、之に依り中央儲備銀行券は、沒落過程にある舊法幣と絶緣致しまして、茲に獨自の價値を持して、中支金融經濟の基礎となるべき安定通貨たるの實を備ふるに至つたのであります。是は中支に於ける通貨金融、延いて民生の安定を圖る上に於て洵に時宜に適したる措置であり、其の政治經濟上の意義も亦重大なることが認められるのでありまして、此の國民政府の措置が、遺憾なく其の效果を擧げ得るやう、帝國政府と致しましても、愈〻中央儲備銀行券の育成强化と、通貨政策の前進に付きまして、引續き協力援助を致す方針であります。

（五）、國民貯蓄の增加顯著

戰時國内金融政策の要諦は、國家の必要とする資金は、必ず之を調達すると共に、而も其の調達は通貨の增發に依らず、專ら國民貯蓄の增强に俟つと云ふことに重點が存しますること、今更言ふまでもないのでありまするが、大東亞戰爭開始以後に於きまして、貯蓄增加の趨勢は特に顯著であります。昨年十二月より本年三月に至る四箇月間の增加額約六十八億三千萬圓であります。是は前年度同期間に比べまして、二十七億六千萬圓は約七割に近き激增と相成つて居るのであります。是れ實に國民が大東亞戰爭を完遂せんとする熱意に燃える貯蓄報國の誠を示すものでありまして、眞に意を强うする次第であります。

右の如く貯蓄實績良好なるが爲め昭和十六年度全體に於ける貯蓄增加額は、百六十億圓を超ゆるのでありまして、大體所期の成績を擧げ得たものと考へられるのであります。支那事變の發生以來本年三月末までの貯蓄增加の總額は約五百億圓に上つて居ります。之に依りまして、支那事變以來の尨大なる戰費と、生產力擴充資金との要請に應へ來つたのであります。本年度の貯蓄增加所要額

は、二百三十億圓でありまして、昨年度の實績に比し約七十億圓の增加であり、之を實現しまするの爲には、更に一段の努力を要するものと存ずるのでありまするが、國民貯蓄の增加が所期の實績を擧げまする限りは、戰費は完全に調達せられ、惡性インフレーションの憂ひは毫末もないのであります。全國民は一層の熱意を以て是が實現に協力せられんことを切望致す次第であります。

(六)、金融體制を整備强化

又國内金融政策の重要なる點と致しまして、蓄積されたる資金の配分を適正ならしむることは、極めて肝要でありまして、戰爭目的の遂行上必要なる方面への資金を完全に供給し、必要ならざる方面への資金流入は、一切之を抑止すると云ふことが緊要でありまするが、政府は資金の蓄積を促進すると共に實情に應じたる資金の計畫的配分統制を行ふ爲め、之に必要なる國内金融體制の整備强化の方策と致しまして、金融統制團體の設立を企圖致したのでありまするが、全國金融統制會を初め是等の團體は、既に其の結成を終り、それ〳〵活動を始めて居るのでありまして、政府は其の前途に對して、大なる期待を有して居るのであります。又戰時金融金庫の設立も去る四月之を完了し、戰時下の特殊の金融上の要求に應ずる態勢を整へたのでありまして、時局下緊要なる船舶建造及び造船造機設備資金の融通に付きましても、同金庫をして特に力を注がしめる豫定であります。

(七)、わが毅然たる態勢

繙つて敵方米國に於きましては眞珠灣の大敗に驚愕し、初めて平和産業の軍需産業への轉換を開始致しまして、更に打續く敗戰と急激なる戰費の膨脹に基く惡性インフレーションの不可避的恐怖に戰きましたるルーズヴエルト大統領は、去る四月二十七日に至り、特別敎書を議會に送りまして、增稅の實行、利潤、物價及び勞賃の規制、國民消費生活の切下、生活必需品の配給機構の整備、貯蓄の增加、戰時公債購入の奬勵等、戰時經濟政策と致しましては、當然過ぎる程當然なる方策を羅列發表致したのに過ぎないのでありまするが、是が米國財界に大なる恐怖と混亂とを惹起しまして、ニューヨーク株式相場は一九三四年以來の安値に崩落し、又最近の報道に依りますれば國債の市價も七年以來の最低價格に暴落したとのことであります。之を我が國が支那事變以來、財政に經濟に順次戰時體制を整備致し、國民能く努め、能く忍び、四年有半に亘り財政經濟の秩序を維持し、進んで國力の增强を圖り、毅然たる態勢を以て大東亞戰爭に臨みましたるに比較致しますれば、米國の狼狽振り誠に笑止の沙汰と申さなければなりませぬ。併しながら敵を侮るは嚴に之を戒むべきでありまして、常に己の備への全たからむことを努むべきであります。大東亞戰爭を徹底的に戰ひ拔き、完全なる勝利を收めまして、以て我が國の存立を確保すると共に、進んで大東亞共榮圈を確立し、之が維持發展を圖ります爲には、財政經濟の方面に於きましても、眞に絶大なる努力を要するは是からでありまして、各般の計畫は其の構想を益〻雄大に、其の實行は愈〻周密適實ならしむる

と共に、之を實現する果敢なる意氣と不屈不撓の實行力を要するのであります。私は愛國の至誠に燃ゆる一億國民の渾然一體、鐵石の決意と絶大なる努力の存する所、必ずや之を遂行し得ることゝ確信致して已まざるものであります。

九、生産力の現狀と將來

大東亞戰爭の結果、わが國は北方南方の地上地下の兩資源を勢力下に置くことを得て、國防生産力が極めて強靭なものとなり、今後の問題はこの資源を如何に活用するかにある。この點に關し鈴木企畫院總裁は五月二十八日の豫算總會に於て大要左の如く述べ「國民が眞に戰ひに勝たんとする決意が確立してゐるならば、この豐富なる資源を持ち、また廣大なる地域に亘つての力を確立しつゝある帝國としては何等不安はない」と斷じてゐる。

我が國の經濟が多分に從來の發展過程から致しまして、英米其の他國際經濟依存の關係が强かつたのであります。併しながら眞に國家の獨立を期し、日本の國是を悠久に亘つて遂行をして行くと云ふ爲には、どうしても日本の重要國防經濟の自給自足を確立せねばならぬと云ふことは、夙に滿洲事變前、或は其の直後あたりから痛感されて居る事態であります。さう云ふ關係から私をして言はしむれば、滿洲事變も自然的に起つて來た問題ではないかと考へられるのであります。

そこでさう云ふ日本の國家の眞の要求が段々展開されまして、又支那事變の如きも其の一つの現はれであるかの如く存せられるのであります。そこで政府は昭和十三年に日本のさう云ふ經濟的な弱點を補正する爲に四箇年計畫を確立致しましたことは御存じの通りであります。併しながら此の四箇年計畫の性格は如何なるものであつたかと云ふことを振返つて見ますと、其の經濟の進展は私が申すまでもなく一足跳びに參る譯にはいかぬ、やはりステップ・バイ・ステップ、此の意圖を以て其の性格を切替へて參らなければならぬのである。それで當時に於ける計畫は、一方に於て支那事變を遂行すると云ふ武力戰の消耗を補塡し、他方此の弱點を切替へて行くと云ふ二つの方向を執つて居ります。さうして其の原動力は依然としてやはり國際經濟に繋つて居る所の日本の經濟力であります。此の經濟力を遺憾なく活用して、さうして一定の期間に日本の重要國防資源の自給性を確立する、斯う云ふのが過去四箇年間の生産計畫の性格であります。然る所、御案内の如く國際政局は波瀾に次ぐに波瀾を以てし、日本の豫期する所の物資の取得、是等に付ても多大の困難があつたのでありまするが、能く計畫當事者、國民の御協力、是等に依りまして、大東亞戰の勃發の直前に於きましては、大東亞戰爭を實行しても、絶體絶命の場合に於ては敢て斷行しても、さうして國民が眞に起ち上るならば、此の經濟力を以て差支へないと云ふ斷定を下し得る地位にまで達したのであります。卽ち昨十六年度の物資動員計畫に於きましては、萬一の

變に處し、此の持つて居る所の力を——當時の經濟の原動力は日本、滿洲、支那、更に進んで當時皇軍の既得權下に入りました佛印若しくはタイ、斯う云ふ方面の物資を活用し、他方國民が粒々辛苦をし、一切のものを傾けて輸入をした所の蓄積、是等のものを以て他からの補給を仰ぐことなく、戰ひに於ても之を完遂し得る所の力を握つたのであります。爾後の經濟の方向は此の握つた所の力と、特に此の蓄積した所の物を使用する期間に於て新たなる自給生産段階に入る、是が目標であります。そこで政府に於きましては大東亞戰が勃發するや否や、直ちに南方資源の活用に掛つたのであります。先程も申上げまする通りに、北は滿洲の果から南は今日皇軍の戰果に依つて手に收めて居りまする所の地域に於ける所の資源は我が國の意圖する戰爭指導の方針、其の戰爭指導の方針の貫徹、其の貫徹から來る所の戰力の消耗を補塡し、之を更に擴充しても尙且つ餘りある資源を包含して居るのであります。今日となりましては、是等の物資を本年度の物資動員計畫に於きましては遺憾なく活用を致しまして、計畫を立案し、自他諸般の計畫と共に是が遂行を期して居る次第であります。唯問題となりますのは、御承知の如く是等の地域を繋ぐ所の運輸の力の問題であります。で本年度の物動計畫、是は要するに武力戰に決定的の勝利を收める、それが爲に必要なる軍需を先づ第一に充足する、第二に此の軍需を充足するに必要なる生産への補給、第三には今後長きに亘る所の戰爭の遂行に必要な生産力擴充に絶對必要と考へる所の物資

の配給、第四には國民の生活を安定確保すること、斯う云ふ見地に立ちまして仕組まれて居るのであります。要するに戰時經濟の運營は戰爭の進展と共に時々刻々に展開をして參る性格を持つて居ります。そこで之を考へ、之を運營をして行く根本の考へは、只今申げまするやうに、武力戰に決定的な勝利を獲得をする。第二には如何なる長期戰になりましても之に對應する所の國防の彈撥力を確保する。此の二つの限點から出發を致しまして、我が國内は勿論、大東亞全域の經濟の凡ゆる要素を活潑に活用せんと致して居る次第であります。斯樣な次第でありまして、只今仰しやるやうに、從來の姿から新しき姿、新しき性格を持つた所の經濟に移行する、是が完成に進むと云ふ段階に於きましては色々の御不便が存することゝ存ずるのであります。併しながら眞に總力戰を遂行すると云ふ國民の固き決意に立つて居る限り、萬一にも他の面に不便が生ずる場合に於ては、陸海軍の方面に於ても之に全的の協力を與へられ、此の難關を突破する、斯う云ふ形になつて居るのであります。卽ち國民が眞に戰ひに勝たんとする決意が確立して居りまするならば、此の豐富なる資源を持ち、又廣大なる地域に亘つての力を確立しつゝある帝國としては何等不安はないと存ずるのであります。

また食糧增産についてゐは、支那事變以來農村は勞力資材の不足を克服してよく增産に挺身し、然かも大東亞戰爭に於ける赫々たる戰果により外米を容易に確保することが出來た。この點につき井野農

相は、豫算總會に於いて大東亞戰爭前よりも食糧供給にかなりのゆとりを見せるに至つたと說明し、生產力擴充の部面などに對しては主要食糧の緩和をしてゐるが、これがために國民の生活の上に緩みを生ずる如きことは絕對に禁物であるとして國民の協力を求めた。

食糧の今後の增給と云ふ問題に付ては、血の出るやうな貴い船を以て補つて居るのでありますから、國民としても唯南方に於ける所の食糧資源が豐富になつたと云ふ氣持で、其の生活の上に緩みがあつては相成らぬと思ふのであります。飽くまでも戰時生活卽ち國民生活の最低限度の確保に向ひましては、政府としても出來るだけの努力を致して參りたいと考へて居りまするし、又主要食糧としての單なる澱粉質食糧のみならず、蛋白質食糧に對しましても、國民榮養上から極めて重要でありますので、政府としても石油其の他の資材の增配を致しまして、最近に於きましては水產物の生產增加も段々と致して參つて居るやうな事情で、今後は主として此の戰時國民生活の確保と云ふことに向つては、最大努力を加へて參りますと共に、又其の見透しに付きましても、相當の確信を持つて居りまするので食糧の不安はない。但し窮屈なる現狀は今申した通り、船舶の上に於て必要な作戰の一部を割いて戴いてまでも、無理を致して居るのでありますから、其の點に付ての國民の御協力は、是非今後も御願ひしなければならぬと考へて居る次第であります。更に南方に於ける食糧資源の獲得によつてわが國の農村が如何になり行くかは極めて重大な問題であるが、これに關し農相は左の如くその指導方針を明かにした。

第二點の南方に於ける所の食糧資源の豐富なるものゝ獲得に依て、我が農村問題は今後如何に考へて行くべきかと云ふことに付きましては、從來の農林政策の基調に、大東亞戰爭の緒戰の赫たる戰果の結果に依ての考慮を加へて參りますと、玆に農林政策の基調にも相當に考へ方を變へて行かなければならぬ點があらうと存ずるのであります。隨て今日に於ての農林政策の基調は、結局農村人口の一定量の保有、食糧の自給强化と云ふ問題が、二大基調になつて參らなければならぬと思ふのであります。卽ち農村に於きましては、農村は單なる主要食糧の生產場としての重大使命を持つて居るばかりでなく、健全なる大和民族の涵養地としての重大使命を持つて居るのでありまするから、農村人口の一定量の保有と云ふことに對しましては、國家としても種々の觀點から色々の施策を致して參りたいと考へて居ります。隨て南方に於ける食糧資源の豐富なる實情が發生致しましても、日本農村の維持發展と云ふことに付きましては、極力政府としても努力を致して參らなければなりませぬし、殊に食糧の自給自足と云ふことは、主要食糧に付ては遠く海を隔てた地に、我が帝國の食糧を依存すると云ふことは、是は絕對に避けなければならぬと考へて居りますので、是等の南方に於ける食糧資源としましては、我が食糧自給强化の上に於ての補給資源として之を考慮し、又更に大東亞共榮圈内に於ける所の食糧と致しまして、帝國が

指導的立場に立ちまして、其の配給統制を行つて參ると云ふ見地から之を考慮して參りますならば、假に現在の南方に於ける食糧資源が全部確保致されたとしましても、我が國に對して其の過剰的壓迫を來すと云ふ憂ひはないと信じて居るのであります。隨て我が農村と致しましては今申上げました二つの基調から、今後に於きましても何等懸念する所なく、增產方針に邁進して參らなければならず、又政府と致しましてもさう指導致して參りたいと考へて居る次第であります。

一〇、戰時標準型船舶の增强案と船員の大量養成

明治初年以來今日に至るまでわが國の海運は異常な進歩を示したが、現下の大東亞戰爭に直面してその增强が益〻必要とされるに至つた。卽ち大東亞戰爭完遂のため、南方諸地域より戰爭物資竝に生活必需品を輸送するためにも、また大東亞圈内の交通確保のためにも、船舶造船の能率を向上し、船舶の確保をなすことが愈〻切實なる問題となつて來た。

わが國の海運は支那事變勃發當時は汽船約四百萬トン、木造船約七、八十萬トンを有し、その後年年增加を示してゐる。イギリスは開戰當時は約二千萬トン、アメリカは湖用船をも含んで一千數百萬トンといはれてゐる。戰爭以來敵國側の損失はドイツ側とイギリス側の發表に非常な差があるが、大體に於てイギリスは一千萬トンを喪失し、アメリカは二百數十萬トンを失つてゐると見られてゐる。

隨つてわが國の造船計畫の目標を如何なる點に置くべきかについては、敵より拿捕したる船、沈沒船の引揚げ、樞軸國船の傭船等をも考慮し、綜合的計畫を樹つべきは當然である。しかし軍事上竝に經濟上必要とする船腹を確保するためには新造船の建造に主力を注ぐことは云ふまでもないことであつて、政府は造船事業の統制組織を確立するため、さきに重要產業團體令に依る造船統制會を設け、造船事業の總力を最も有效に發揮し、その綜合的運營を圖らしむることゝしたが、更に船舶の建造を敏速且つ確實實現すべき具體的方策として戰時標準型による船舶の計畫造船を實施する事とし、これが運營には產業設備營團をしてこれに當らしめる事になり、その法律案を今議會に提出して成立を見たのである。

而して政府の企圖する標準船型は一般貨物船六種、油槽船三種、鑛石等の運搬船一種、木造船五種、木造艀四種であつて、各造船所の設備、能力等に應じてこれに適當なる船型を定め、極力同一型の船舶を大量且つ容易に建造せしめる事になつた。これが實施に當つては戰時中、海務院の管掌する造船事務に關する權限の一部を海軍大臣に移管し、艦船の造修と船舶の造修を一元的に企畫運用することとし、資材、施設、勞務及び動力に關して極力これを計畫强化することになつたが、なほ造船に關する能力を常に最高度に活用するため、船舶・船舶用機關竝に艤裝品の發註等を計畫的且つ有效に行ふべき特殊の措置を執る必要がある。また資材等の昂騰に基づく船舶建造價格と、一般低物價政策によ

り抑壓せられつゝある運賃傭船料を基礎として算出せる所謂採算船價との間に生ずる懸隔に付ても、適切な調整をなす必要があるので、政府は國家的見地から産業設備營團をして標準型船舶の建造の一括註文をせしめ、これを海運業者に賣渡し若くは貸付けしめ、更に急速に增強を必要とする造船造機施設の新設擴充の實施に當らしめ、同時にこれら事業によつて生ずる損失については政府に於て補償することになつた。

この損失補償のため豫算外國庫の負擔となるべき契約に關する件を承認した。卽ち産業設備營團の損失補償限度を從來の六千五百萬圓から二億圓に引上げ、また朝鮮總督府關係船舶建造補助を百五十萬圓とし、朝鮮總督府關係建造融資補給及び損失補償法を改正し、貸付總額四百五十萬圓より一千萬圓に引き上げた。なほ今後產業設備營團の行ふ船舶の建造讓渡貸付等によつて生ずる損失補償金は、昭和十七年度以降三ヶ年間に於て一億三千五百萬圓を計上してゐる。

この計畫造船實施に當つて第一に問題となる造船資材に就ては、政府は之を物動計畫にすべてを繰り込んで確保して居り、第二に問題となる建造船價に就ては、原價計算の方法によつて基準となるべき船價を算定し、これに適正なる利潤を加へて算定し、また賣渡船價は運賃傭船料を基礎として所謂採算船價を算定して決定するが、之等船價の算定に當つては官民の委員會に諮つて決定することになつてゐる。第三に問題となる標準型船舶の船價償却年限に就ては、從來と異なる償却年限が採用され、第四に建造した船舶を賣渡すことに就いては、敵襲海難等により沈沒破損した船舶の船主に優先せしめると共に、增强船腹については國家の輸送力より見て最も必要な船主に配當する方針である。

この船舶の大量建造と共に必然的に船員の養成を要するため、政府は一千二百六十八萬三千圓を船員教育施設整備擴充に關する經費として計上した。これは昭和十八年度より高等商船學校一校を增設するための準備費と短期高等海員養成所二ヶ所及び海員養成所三ヶ所の增設費である。

一一、本年度追加豫算案

第八十回帝國議會を通過し協贊を經た昭和十七年度追加豫算額總額は一千二百八十四萬六千圓であり、國防經濟體制確立に必要な海運擴充等を實現するためのものに限られてゐる。（單位千圓）

◇一般會計		
歲出 經常部		五五三
臨時部		一二、二九三
計		一二、八四六
◇各省別		
大藏省所管		一四八
遞信省所管		一〇、二〇九
一、船員教育施設整備擴充費		一〇、〇六一
（イ）高等商船建物その他新營費		七、〇〇〇
（ロ）短期高等海員養成所及び海員養成所新設費		三、〇六一
二、大東亞建設審議會經費		一四八
計		一〇、二〇九

一、船員教育施設整備擴充費　二、六二二
（イ）高等商船學校增設準備費　一、〇七〇
（ロ）短期高等海員養成所增設費　一九〇
（ハ）海員養成所增設費　一、三六二
二、計畫造船實施費　一五
計　二、六三七

而して追加豫算の歳出財源としては、十七年度に於ける豫算實行上の歳入超過額を以て支辨することになつた。卽ち十七年度に於ける歳出中には前年度の公債發行減少に伴ふ利子拂等約一千九百萬圓の不用額が明瞭に豫定せられるので、このうちから振り向けることにして、歳入豫算を計上しないことにしたのである。

◇豫算外國庫の負擔となるべき契約に關する件（これは計畫造船の實施に伴ふ損失補償金並に建造補助金である）。

（イ）産業設備營團の損失補償限度を從來の六千五百萬圓から二億圓に引き上げる（商工省關係）

（ロ）朝鮮總督府關係船舶建造融資補給及び損失補償は貸付總額四百五十萬圓より一千萬圓に引き上げる（拓務省關係）

（ハ）朝鮮總督府關係船舶建造補助金を百五十萬圓とし、昭和十七年度以降二ヶ年以內に於て國庫の負擔となるべき契約を昭和十七年度に於て結ぶこと（拓務省關係）

一二、結　論

今期議會は會期僅かに二日間であり、提出案件も左の四件にすぎなかつた。

一、産業設備營團法中改正法律案
一、船舶建造融資補給及損失補償法中改正法律案
一、昭和十七年度歳入歳出總豫算追加案（第一號）
一、豫算外國庫の負擔となるべき契約をなすを要する件（追一號）

以上の四件は、赫々たる戰果に卽應して進められてゐる大東亞建設の基礎となるべき船腹擴充のための計畫的造船に關するものであつて、これが審議には極めて眞摯なる態度をもつて臨んだのである。殊に議事の進め方については從來の慣行を打破し、豫算總會に於ける質問の如きも、翼贊政治會を代表して山崎達之輔氏のみこれに當り、他は取り纏めて補充的に豫算委員長が質問を行ふことにしたのである。また五月二十八日の本會議の如きも、長時間に亘り議事を進め、翌日の審議に便ならしむる等の措置がとられたのである。斯くして、吾等は一致結束、以て協贊の誠を盡し得たことを欣ぶ。而して來るべき議會には、更らに一段の工夫研鑽を積み、國民の期待に反せざるやう、ひたすら翼贊議會の成果發揚に努めんことを期してゐる。

翼贊政治會役員氏名（○印常任總務）

總裁　阿部信行

總務　石黒忠篤　○牛塚虎太郎　○太田耕造　○子爵岡部長景
清瀬一郎　○伍堂卓雄　末次信正　瀧正雄　藤山愛一郎　○横山助成
事務局長　橋本清之助

○石渡莊太郎　○男爵岩倉道倶　遠藤柳作　○大麻唯男　○太田正孝　岡田忠彦　勝正憲　金光庸夫　小林順一郎　○後藤文夫　伯爵酒井忠正　白鳥敏夫　千石與太郎　田中都吉　○永井柳太郎　橋本欣五郎　○前田米藏　○山崎達之輔

翼贊政治會規約

第一條　本會ハ翼贊政治會ト稱ス

第二條　本會ハ國體ノ本義ニ基キ大東亞戰爭完遂ノタメ擧國的政治力ヲ結集シ翼贊政治體制ノ確立ヲ圖リ以テ大政翼贊ノ實ヲ擧クルヲ目的トス

第三條　本會ニ總裁ヲ置ク
總裁ハ會務ヲ統理ス

第四條　本會ニ顧問若干名ヲ置ク
總裁ハ總會ニ於テ推擧ス
顧問ハ總裁之ヲ委囑ス

第五條　本會ニ總務若干名ヲ置ク
總務ハ總裁ヲ輔佐シ會務ヲ處理ス
總務ハ總裁之ヲ指名シ任期ハ一年トス

第六條　本會ニ事務局ヲ置ク
事務局ノ構成ハ別ニ之ヲ定ム

七條　總裁ニ於テ必要ト認ムルトキハ特ニ他ノ機關ヲ設クルコトヲ得

第八條　本會ハ毎年一回通常總會ヲ開ク

總會ニハ本會ノ役員帝國議會ノ議員タル會員及總裁ノ指名シタル會員出席ス

第九條　帝國議會開會中ハ院內機關ヲ置クコトヲ得

院內機關ノ構成ハ別ニ之ヲ定ム

第十條　本會ノ經費ハ會費及寄附金ヲ以テ支辨ス

第十一條　本會ニ會計監督若干名ヲ置ク

會計監督ハ總裁之ヲ指名シ任期ハ一年トス

第十二條　會員ノ加入ハ總務會ノ議ヲ經ヘシ

第十三條　本會員ニシテ本會ノ主旨ニ反シ會員タル體面ヲ瀆シ其他不都合ノ行爲アリタル者ハ總務會ノ議ヲ經テ之ヲ除名ス

第十四條　本規約ニ定ムルモノノ外必要ナル事項ハ總裁之ヲ定ム

昭和十七
昭和十七

編纂兼發行者　横山正一　東京市麴町區丸ノ内三ノ一四（大東亞會館內）
翼贊政治會

發行所　株式會社　東一一七五〇九
川町一〇
一郎
川町一〇
東亞會館內）

翼贊政治會

14.3
第
35
控本製
函 伊了 号 135/135
日 月 年
申
備考
回 80 回
本 80 回
帝大大学
帝大議院
委員議院

七、議長ニ故アル必要ト認ムルトキハ特ニ他ノ機關ヲ設クルコトヲ得

第八條　本會ハ毎年一回通常總會ヲ開ク

總會ニハ本會ノ役員幷ニ會員及總裁ノ指名シタル會員出席ス

第九條　臨時總會開會中ハ院内機關ヲ置クコトヲ得

院内機關ノ構成ハ別ニ之ヲ定ム

第十條　本會ノ經費ハ會員及寄附金ヲ以テ支辨ス

第十一條　本會ニ會計監督若干名ヲ置ク

會計監督ハ總裁之ヲ指名シ任期ハ一年トス

第十二條　會員ノ加入ハ總務會ノ議ヲ經ヘシ

第十三條　本會員ニシテ本會ノ主旨ニ反シ會員タル體面ヲ汚シ其他不都合ノ行爲アリタル者ハ總務會ノ議ヲ經テ之ヲ除名ス

第十四條　本規約ニ定ムルモノノ外必要ナル事項ハ總裁之ヲ定ム

昭和十七年六月廿九日印刷
昭和十七年七月一日發行

（非賣品）

發行所　翼贊政治會
東京市麹町區丸ノ内三ノ一四（大東亞會館内）

印刷者　渡邊一郎
東京市小石川區東古川町一〇

印刷所　中外印刷株式會社
東京市小石川區東古川町一〇
（東東一一七五〇九）

編纂兼發行者　横山正一
翼贊政治會
東京市麹町區丸ノ内三ノ一四（大東亞會館内）

143
135